

病害虫発生予察情報

6 月月報

平成 19 年 7 月 13 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2007 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	25.2	0.2	16.6	0.1	20.5	0.0	16	50	53.1	140
中旬	28.7	3.6	18.3	0.6	23.1	2.0	31	56	76.0	293
下旬	28.5	3.5	20.6	2.1	24.0	2.5	17	23	24.2	152
平均	25.5	0.5	18.9	1.3	22.5	1.4				
合計							81	47	187.2	150

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年並みであったが、中・下旬は高かった。

降 水 量：上・中旬はやや少なく、下旬はかなり少なかった。

日照時間：上・下旬は多く、中旬はかなり多かった。

<天候概況>

上旬：6日まで高気圧に覆われ晴れる日が多く、7日から10日にかけて雨の日が多かった。

中旬：期間の前半は雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われ晴れる日が多かった。

下旬：期間の初めに梅雨前線が本州を南下し中ごろまで停滞した。その後も低気圧が日本海を東進したため曇りや雨の日が多かった。

2 作物生育概況

(1)イネ

苗の定植はほぼ終了した。定植後の生育は概ね順調である。

(2)サツマイモ

定植後の活着は良好で、その後の生育もほぼ順調である。

(3)野菜

果菜類等

半促成や普通栽培のトマト、キュウリの生育は順調で、降水量が少ない関係で病気の発生は少ないものの、アザミユマ類の被害が多かった。ナスは定植時に低温の影響をうけたものは、生育がやや劣ったが、全体的には概ね順調である。その他の果菜類の生育は概ね順調である。エダマメは順調に生育しており、気温がやや高めに経過した関係から、収穫期がやや早まる傾向にあった。スイートコーンでは、生育初期に乾燥の影響をうけたものは生育がやや遅れたが、全体としては順調な生育を示している。

葉菜類

施設および露地のコマツナの生育は概ね順調である。キャベツは収穫がほぼ終了したが、品質的

には良いものが多かった。

イモ類

ジャガイモの生育は順調であった。本年は収量が多く、品質の良いものが収穫された。サトイモは順調な生育を示している。

(4)果 樹

ブドウ 農総研の果樹圃場 (灰色低地土)におけるブドウ開花盛と平年差 (カッコ内)は以下のとおり。

ほぼ平年並みの開花日であった。

巨峰 6 月 1 日 (+ 1 日)

紅伊豆 6 月 1 日 (+ 2 日)

(5)茶 樹

2番茶は、例年に比べて3~5日ほど早かった。生育は順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1)イネの病害虫

いもち病 (苗)	< 並 >	発生は平年並であった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2)果樹の病害虫

ナ シ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハマキムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

カ キ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(3)茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4)野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。

オンシツコナジラミ	< 多 >	発生は多かった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナス		
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラハバチ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
さび病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
(5)花きの病虫害		
キク		
キクスイカミキリ	< 並 >	発生は平年並であった。
花き共通の病虫害		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
(6)植木の病虫害		
街路樹など		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ケヤキのヒゲマダラアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
(7)島しょの病虫害		
大島：アシタバでアブラムシ類，ブーバルジアでコナジラミ類およびガーベラでハモグリバエ発生が多かった。		
新島：アシタバでハダニおよびヨコバイ類，ハウストマトでコナジラミ類の発生が多かった。		
神津島：アシタバでハダニおよびヨコバイ類の発生が多かった。		
八丈島：アシタバでハダニおよびヨコバイ類，口べで炭そ病およびペスタロチア病の発		

生が多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月5日	7月6日	0	0
大田市場	6月5日	7月6日	0	0
板橋市場	6月5日	7月6日	0	0
淀橋市場	6月5日	7月6日	0	0
青梅青果市場	6月11日	7月9日	0	0
昭島青果市場	6月11日	7月9日	0	0
八王子北野市場	6月8日	7月9日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月8日	7月9日	0	0
国立市場	6月8日	7月9日	0	0
東久留米市場	6月12日	7月10日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報,発生状況,防除方法
などをお知らせしています。